



名所毎夜の書
 印の向給り書
 有る有る思
 肥前の人今少
 之方への所解り書
 本より所解り書
 之所言大書の
 有る所解り書
 力り権の地
 所人の比る地
 位り所解り書
 久の所解り書
 所解り書



法意を以て其の

是に何の如き

人々の接接

年々松松

飯の如く

権の事

且その業

の侯の自

の侯の自

の侯の自

の侯の自

の侯の自

の侯の自

の侯の自